

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立保土ヶ谷公園

指定管理者 : 財団法人神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月30日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
11月	12月10日	12月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
12月	1月11日	1月31日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
1月	2月10日	2月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
2月	3月10日	3月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
3月	4月11日	4月14日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

保土ヶ谷公園の整備方針や特徴、これまでの取り組みを踏まえ、総合的な管理運営方針を「スポーツと健康、みどりと人とのふれあいづくり」として、また、管理運営の3つのテーマを掲げて、一層の県民サービスの向上と経費の節減に努めた管理運営に取り組みます。

- スポーツとのふれあい、健康づくりの発信
- みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり
- 県民に親しまれ、交流の場となる公園づくり

<実施状況>

「H22年度のイベント実施計画」記載のイベントは、3月11日以降のイベントが、当初より予定がなかったため、全て実施することができた。

○サッカー場の芝生を活かした、ふれあい芝生サッカー教室やアマチュア芝生管理教室などを実施した。

○下半期では、今年度初めて実施した10月の「ほどがや区民まつり」は、運動広場・噴水広場及びアートホールでのテントブースやイベントステージの会場使用で、約48,000人もの人出となった。また、11月～12月にかけて実施した「ライトアップ&イルミネーション」は暖かな陽気もあり多くの人々が来園し、12月25日の「クリスマスコンサート」とともに、冬の保土ヶ谷公園の新たな魅力となった。

○公園資料館のギャラリーは“Gallery Coen”と愛称をつけ、県民に広く、親しく利用できる施設とし、常設企画展示を心がけ、来園者がいつ来ても催事が行われているよう実施してきた。10月には写真展「新潟県下田村」など、11月はボタニカルアートと陶芸の「二人展」と「フォトコンテスト入賞作品発表展」、12月には「クリスマスキルト展」、1月は「ふすまえの世界」、2月は絵画「チャコス展」など、3月は「墨で描くクジラ」展を開催し、季節ごとの展示内容が新たな公園の魅力づくりとなった。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	250,834	153,334	41,000 (40,500)	56,500 (56,000)	250,834	0
上半期計 (a)	144,240	87,718	24,675 (27,529)	31,847 (34,425)	130,427	13,813
下半期計 (b)	104,566	65,616	17,141 (16,388)	21,809 (21,104)	117,853	-13,287
10月	13,850	4,900	3,519 (3,699)	5,431 (5,478)	19,111	-5,261
11月	18,107	9,651	3,860 (4,027)	4,596 (4,884)	13,488	4,619
12月	25,117	18,621	3,396 (2,517)	3,100 (2,675)	28,037	-2,920
1月	16,936	12,161	2,232 (1,819)	2,543 (2,602)	13,411	3,525
2月	12,759	7,877	2,190 (1,928)	2,692 (2,461)	15,779	-3,020
3月	17,797	12,406	1,944 (2,398)	3,447 (3,004)	28,027	-10,230
合計 (a+b)	248,806	153,334	41,816 (43,917)	53,656 (55,529)	248,280	526

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・利用料金収入の実績額は、計画額を上まわったが、前年実績額と比較すると下まわった。
- ・駐車場収入の実績額は、計画額を下まわるとともに、前年実績額をも下まわった。これは、3月末まで寒く、桜の開花が遅れたことや東日本大震災等の影響によるものと思われる。
- ・支出の実績額は、計画額を下まわり、収入実績額をも下まわった。これは、駐車場経費の駐車場運営費の節減等に努めた結果であり、やむを得ないものと思われる。また、支出のうち公園維持管理業務の計画額を実績額が上まわっており、業務計画以上の業務実績となっている。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	「特になし」	
支出の状況	「特になし」	
積立等の状況	「特になし」	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	339,291人	406,280人	△16.5%
下半期計 (b)	269,349人	225,198人	19.6%
10月	103,685人	57,596人	80.0%
11月	44,324人	47,373人	△6.4%
12月	34,275人	28,615人	19.8%
1月	24,080人	22,355人	7.7%
2月	36,845人	39,046人	△5.6%
3月	26,140人	30,213人	△13.5%
合計(a+b)	608,640人	631,478人	△3.6%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・前年利用者数を下まわった。これは、3月末まで寒く、桜の開花が遅れたことや東日本大震災等の影響によるものと思われる。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月		1				1
11月		1				1
12月		2				2
1月	1		1			2
2月	1					1
3月		1				1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月		1	1
11月			
12月	1		1
1月			
2月	1	1	2
3月	1	1	2

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・近隣からの樹木伐採の要望	多くは職員が即日対応、高木は専門業者に依頼
	・北口ピクニック広場下の桜3本が傾斜して危険	近寄らないように囲い、開花後に伐採予定
職員対応	・	
事業内容	・駐車場料金が時間毎に高くなる。上限を設定	上限設定を検討
その他	・高校野球開催時の道路渋滞は、近隣に迷惑だ。	事前渋滞告知看板を幹線道路に10枚設置し、開催時の渋滞告知をしている
	・犬の放し飼いに対する注意喚起の要望	園内看板、園内放送、職員、警備員の注意による喚起を行っている。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
2月 23日	パート職員が軟式野球場整備中、作業車から野球場整備器具（アングル）を下ろす際に指を挟み怪我（骨折）をした。翌日、人身事故対策会議を所内で開き、事故対策を話し合った結果を今後の作業で実施することとした。
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		「特になし」	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期に引き続き、ギャラリーでの新規企画や「ほどがや区民まつり」を区と共催、新たなイベントを開催するなど積極的に利用促進を行うとともに、維持管理でもベンチの増設や梅園と森の遊び場との間の法面約3,000㎡の藪の草刈・伐採の実施、バス停を拠点とした花修景の充実など保土ヶ谷公園の魅力アップに努めた。 ・収支状況については、利用料金及び駐車場収入は2月までは計画を上まわっていたが、3月の大震災の影響で減少、支出については入札差益や駐車場運営費の一部を住民要望があった法面の支障木処理や花のプロムナードの推進、インフォメーション機能の充実や老朽化した施設の改修などに有効に活用した。
施設所管課	<p>公園資料館のギャラリーを県民に広く、親しく利用できる施設として、来園者がいつ来ても催事が行われているよう心懸け、新たな公園の魅力づくりが行われた。</p> <p>また、利用促進にも、今年度より新たに「ほどがや区民まつり」などのイベントを実施するなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>今後ともなお一層、サービスの向上と利用促進を積極的に図る必要がある。</p>